



南中だより 速報

平成29年 7月12日
東久留米市立 南中学校
校長 川上 智

米国コロラド大学視察団との交流

7月7日（金）、コロラド大学アジア研究センター、アジア学習プログラムの先生と米国各地の中学校や高校の先生計14名が本校に視察に訪れ、子供たちと交流をしました。今回は急な依頼であったため特別なプログラムはありません。通常の教育活動を参観していただきました。その様子をお知らせいたします。

3年1組と1年2組の英語の授業を通して交流

2年生の山下先生は校長の通訳をしていただくため、3年生と1年生の授業にゲストティーチャーとして参加していただきました。アメリカの先生方は皆さんユーモアがあり、子供たちも楽しく進んでアクティビティに取り組んでいました。本校の生徒がとても積極的に関わっていたのが印象的でした。



生徒会長が本校の校章を記念にプレゼント



3年生の内山さんが校章の由来を説明しながら、お一人お一人に校章をプレゼントしました。とても立派なスピーチで先生方も感心されていました。「彼女には勇気がある。そして生徒会長の役割をしっかりと果たした。」とお褒めの言葉をいただきました。

なお、本市教育委員会の直原教育長と師岡教育部長も視察団の先生方へのご挨拶に本校にお見えになり、直原教育長が英語で歓迎の言葉を述べられました。教育委員会からプレゼントされた、東京オリンピック・パラリンピック大会の公式ピンバッジを先生方は喜んでおられました。

アメリカ国歌に思わず涙

部活動を見学するため先生方は音楽室へ。そこで待っていたのはアメリカ国旗を手にした合唱部の生徒たち。先生方が入室すると大きな声でアメリカ国歌を斉唱しました。目を閉じて直立不動で聞き入る先生。思わず涙してしまう先生。先生方皆さんがとても驚かれ、そして感動されていました。帰り際、子供たちの国歌斉唱はいかがでしたかと伺うと、「アメリカの子供たちよりもしっかりと歌ってくれました。本当にありがとう。」とお話されました。合唱部は瀧廉太郎の「花」も披露しました。



日本の伝統文化に触れる

続いて歴史的遊戯部で将棋を見学されたあと、茶道部の生徒たちが、お点前を披露。茶を点てる生徒の様子を興味深そうにご覧になられていました。また、浴衣が珍しかったのでしよう。とても喜んでおられました。



視察の主目的は本校のオリンピック・パラリンピック教育の実施状況でしたが、子供たちとの交流がとても良かったと皆さんお話されていました。コロラド大学の先生から「これまで日本の学校をいくつか訪問したが、一番いい生徒たちだ。」と評価していただいたのが何よりの喜びです。

これから、南中は米国ノースカロライナの子供たちと交流します。次代を担う両国の子供たちのために有意義な取組にしていきます。